きいのちから

［ちいきのちから］

家庭の収入と学力・進路の相関関係が指摘され、いわゆる教育格差が社会問題として認知されている。大田区の調査※でも生活困難層に該当する子どもの割合が12・8％にのぼり、1クラスあたり約8人の子どもが就学援助を受けている。この問題に取り組む、特定非営利活動法人ユースコミュニティー代表理事の濱住邦彦さんと小学生クラス教室長にお話をうかがった。（取材・文＝中山良恵）

※令和2年度大田区子どもの生活実態に関するアンケート調査

子どもたちの多様な学び気持ちに応える

自由塾・大森教室の様子
（写真提供すべて：ユースコミュニティー）

profile 073
特定非営利活動法人 ユースコミュニティー

学習支援活動「自由塾」

同団体は、子どもの学習支援を目的として、2012年5月に設立。その夏に、大田区大森西図書館会議室で「夏休みお助け塾」を開催した。その後、大田区の助成事業に採択され、地域や行政と連携し、本格的な学習支援事業を開始する。

2013年4月には、同団体の主軸となる「自由塾・大森教室」をカフェヴェルデ（大田区山王）で開講。蒲田教室、仲池上教室、糀谷教室と続き、現在は、6つの「自由塾」を運営している。

自由塾は、カフェや企業と業務提携し、営業以外の時間帯に会議室などを間借りし開講。「自由塾」の参加対象は、主に中学生。勉強が本格化し、高校進学を見据え、教育格差が目に見えてくる年代である。

2016年5月には、生活困窮者自立支援法にもとづく「子どもの学習支援事業」を大田区から受託し4教室の運営を開始。2021年12月には、日本財団「子ども第3の居場所」プロジェクトに参加し、新たに小学生対象の「自由塾」を開講した。

「今の子ども達は、気軽に遊べたり、勉強する場所がない」と濱住さんはいう。近所の大学生や町会の会館に集う人たちに、気軽に質問や悩みを話す。そこから地域の問題が見え、解決に向かうことができる。かつての地域コミュニティのような居場所を「自由塾」は目指している。

居場所づくりと地域のチカラ

濱住さんは2011年、東日本大震災の被災地、岩手県大船渡市に震災ボランティアとして参加。その際、現地での学習支援活動を知る。当時建設業界の労働組合に従事していた濱住さん。他業種で合同開催する組合のシンポジウムに参加し、教育格差の問題に関心を持ったという。大田区に戻り調べると、自宅近くに区職員のケースワーカーの有志が学習支援活動をしていた。そこに濱住さんも加わり、ボランティアとして活動するうちに、今を生きる子どもたちの取り巻く問題を肌で感じたという。程なく、大田区地域力応援基金ジャンプアップ助成のテーマに「子どもの学習支援」が出された（2013年度）。学習支援を広げるため、濱住さんは団体を作ることを決意する。

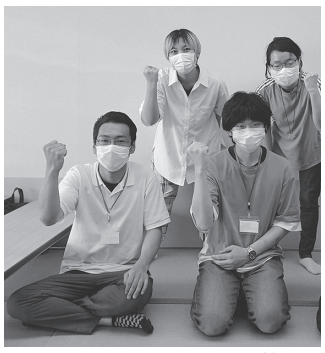
自由塾・小学生クラスの様子

「自由塾」では、ボランティアスタッフが子どもたちの対応をする。高校生から社会人がホームページ等で応募。現在約200名のボランティアが在籍している。学習の支援だけでなく、子どもと大人の交流やスタッフ同士の関わり合いも「自由塾」の魅力の一つだ。

「勉強を教えて結果が出るのも嬉しいけど、人と人とが繋がっていくことで自分も生き生きとしてくる」と濱住さんはいう。

更なる学びと支援のために

「自由塾」には、大手の塾のような体系的なカリキュラムで指導するのではなく、子ども一人ひとりにあった、必要な支援を探し出し対応する。例えば、遠足の感想文の宿題をどう書いたらいいか迷っている子。数学の難しい問題に挑戦したい子。スタッフが一緒に調べながらサポートしている。「コロナ禍で、お出かけ経験が少ない。いろいろなことを経験させてあげたい」と教室長さん。塾と学童の中間のようなサポートを目指している。



スタッフの皆さん

しかしながら、子どもたちの多様な学びへの支援には、時には専門性を備えたスタッフが必要となる。そのために、一定数の有償スタッフの配置が望ましく、その資金調達が現在の課題となっている。

子どもたちの学びをきっかけに、世代をまたぐコミュニティが生まれ、そこが地域の居場所となる。私たちの地域がやさしく、あたたかい地域となるよう、活動を応援していきたい。

DATA
特定非営利活動法人
ユースコミュニティー
https://www.youthcommunity.net/isai/

3面のご案内

★むすびつき
地域をベースに活動を展開する団体に注目。活動に携わるひとたちの思いに迫ります。参考にしたいステキな活動であれば、その範囲は大森にとどまりません。「地域のちから」ここにあり！

vol.71 2022年5月 大森山王えんにち［新しいご縁がうまれる場］
vol.70 2022年2月 馬込文士村 空想演劇祭［地域密着型のフェスティバル］
vol.69 2021年11月 アースフレンズ東京Z［だからバスケットボールは面白い］
vol.68 2021年8月 おおたオープンファクトリー実行委員会［モノづくりから つながり、伝える、まちづくり］

バックナンバーはウェブで！ www.oomori-cafe.com

ちいきのたね 見つけた

目まぐるしく変わるまちの<今>を紹介。情報をお寄せください。
☎03-5935-7881

まごめ秋のバザーまつり
10/29（土）馬込西公園

東京都認証保育所「まごめ共同保育所」が地域住民へ日頃の感謝を込めて「まごめ秋のバザーまつり」を3年ぶりに開催。卒園生、在園保護者によるお店が並ぶ「遊んで楽しい、買って嬉しい」時間を一緒に。

日時●2022年10月29日（土）10:30-14:00
※雨天時は10月30日に順延
会場●馬込西公園（大田区西馬込2-8-15）
都営浅草線西馬込駅徒歩5分
問合●まごめ共同保育所（大田区西馬込1-18-13）
TEL 03-3771-1969
https://www.magomekyodo.org/

大森東・嶺町地区の子育て世代を応援！「ご近所さんサポーター」大募集
大田区社会福祉協議会
おおた地域共生ボランティアセンター

大田区大森東・嶺町特別出張所管内で0歳児を育てている家庭を訪問するボランティア「ご近所さんサポーター」を募集中。月1回、子育て支援グッズや地域の子育て情報を届けたり、玄関先でお母さんとコミュニケーションをおこなうのが主な活動。詳しくは大田区社会福祉協議会のホームページ。

↑詳しくはこちらから
https://www.ota-shakyo.jp/service/05/gokinjyo

読者プレゼント
ご応募いただいた方の中から抽選で、ステキなプレゼントをお贈りします。

しながわ水族館
水族館の招待券を10組20名様にプレゼント！

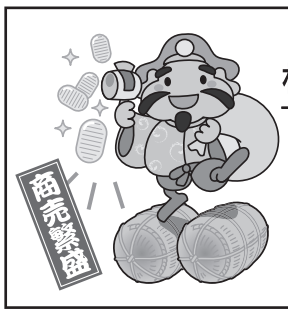
提供：しながわ水族館　品川区勝島3-2-1
https://www.aquarium.gr.jp/
QRコード読み取りでメールからも応募できます
※2022年10月10日当日消印有効。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

◎応募方法◎葉書、FAXまたはEメールで、住所・氏名・年代（例：40代）・職業・電話番号・本紙を入手したところ・広告/記事へのご意見、ご感想・号数とご希望のプレゼント名を明記してお送りください。
宛先：大森まちづくりカフェ プレゼント係　FAX：03-5935-7881
〒143-0023 大田区山王3-27-6　office@oomori-cafe.com
※お寄せいただいた皆様の個人情報は企画者で厳重に管理し、当選のご連絡、また事前に許可を得た方に限りキャンペーン等のご連絡に使用させていただきます。

NSN ニュースサービス日経
かま吉 OTA7
蒲田・千鳥町・大岡山・馬込・大森羽田

1週間無料試し読み受付中！
お申込み・お問合せは下記販売店まで。
NSN 蒲田　〒144-0051 東京都大田区西蒲田 7-10-3　TEL 03-3738-3363 FAX 03-3732-3264
NSN 千鳥町　〒146-0093 東京都大田区矢口 1-10-4　TEL 03-3758-1222 FAX 03-3758-6658
NSN 大岡山　〒145-0065 東京都大田区東雪谷 1-29-2　TEL 03-3727-2450 FAX 03-3729-9335
NSN 馬込　〒143-0025 東京都大田区南馬込 2-16-4　TEL 03-3772-5605 FAX 03-3776-3290
NSN 大森羽田　〒144-0047 東京都大田区萩中 3-28-2　TEL 03-3741-2322 FAX 03-3741-7899

大森駅北口から徒歩1分
英会話サロン
毎週火・水・木曜開催 60分 2000円
すきま時間を利用して、英会話を学びませんか？
楽しみながら「使える英語」が身につくサロンです
体験レッスン有り！　詳細お問合せはこちらまで
080-7418-4649 クロフトまで
info@waimakcomms.co.jp
大森で20年の実績を持つワイマックの英会話サロンです
有限会社ワイマック　TEL 03-5709-6207
大田区山王 2-1-8 山王アーバンライフビル1階　感染対策を施した会場です



杉田浩二税理士事務所
税理士 杉田 浩二
〒141-0032　最寄駅 JR大崎駅
東京都品川区大崎1-19-10 田中ビル3F
TEL:(03)6417-4207 FAX:(03)6417-4208
E-mail:info@sugita-k.net
URL:http://www.sugita-k.net/

広告募集
会社や商品の宣伝　まちを応援したい！　求人の募集をしたい！　…など
ライターも募集中!!
本紙「大森まちづくりカフェ」に広告を掲載しませんか？
コンセプト　大森の魅力を多くの人に伝えたい！ このような思いで発行しています　年4回発行！
ターゲット　20代～主に女性や子育て世代、シニア層、地域に関心ある方
発行部数　30,000部 NSN管轄エリアに新聞折込1万1千部
折込以外の主な配布先
・アトレ大森・大森駅ビルRaRa・東急ストア
・MEGAドン・キホーテ大森山王店　他 協力店
・出張所、図書館、児童館など周辺公共施設 地域イベントで無料配布 など
大森まちづくりカフェキャラクター「もりもりくん」
広告のお申込・お問合せは　特定非営利活動法人 大森まちづくりカフェ
〒143-0023 東京都大田区山王3-27-6　office@oomori-cafe.com
TEL/FAX 03-5935-7881（平日13-17時）　www.oomori-cafe.com